

# Arcserve Cyber Resilient Storage

バージョン 2

コマンド リファレンス ガイド

arcserve®

## 法律上の通知

組み込みのヘルプシステムおよび電子的に配布される資料も含めたこのドキュメント(以下「本書」)はお客様への情報提供のみを目的としたもので、Arcserveにより随時、変更または撤回されることがあります。

Arcserveの事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複製、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。本書はArcserveが知的財産権を有する機密情報であり、ユーザは(i)本書に関連するArcserveソフトウェアの使用について、Arcserveとユーザとの間で別途締結される契約により許可された以外の目的、または(ii)ユーザとArcserveとの間で別途締結された守秘義務により許可された以外の目的で本書を開示したり、本書を使用することはできません。

上記にかかわらず、本書で取り上げているソフトウェア製品(複数の場合あり)のライセンスを受けたユーザは、そのソフトウェアに関して社内で使用する場合に限り本書の合理的な範囲内の部数のコピーを作成できます。ただしArcserveのすべての著作権表示およびその説明を各コピーに添付することを条件とします。

本書を印刷するかまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、そのライセンスが終了した場合には、ユーザはArcserveに本書の全部または一部を複製したコピーをArcserveに返却したか、または破棄したことを文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、ARCSERVEは本書を現状有姿のまま提供し、商品性、お客様の使用目的に対する適合性、他者の権利に対する不侵害についての黙示の保証を含むいかなる保証もしません。また、本システムの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の損失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、ARCSERVEはお客様または第三者に対し責任を負いません。ARCSERVEがかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本書に記載されたソフトウェア製品は、該当するライセンス契約書に従い使用されるものであり、当該ライセンス契約書はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者はArcserveです。

「制限された権利」のもとでの提供: アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14、52.227-19(c)(1) - (2)、DFARS Section 252.227-7014(b)(3)、またはこれらの後継の条項で規定されている該当する制限に従うものとします。

© 2026 Arcserve(その関連会社および子会社を含む)。All rights reserved. サードパーティの商標または著作権は各所有者に帰属します。

## Arcserve へのお問い合わせ

Arcserve サポート チームは、技術的な問題の解決に役立つ豊富なリソースを提供します。重要な製品情報に簡単にアクセスできます。

### [Arcserve へのお問い合わせ](#)

Arcserve のサポート：

- Arcserve サポートの専門家が社内で共有しているのと同じ情報ライブラリに直接アクセスできます。このサイトから、弊社のナレッジ ベース( KB) ドキュメントにアクセスできます。ここから、重要な問題やよくあるトラブルについて、製品関連 KB 技術情報を簡単に検索し、検証済みのソリューションを見つけることができます。
- 弊社のライブ チャット リンクを使用して、Arcserve サポート チームとすぐにリアルタイムで会話を始めることができます。ライブ チャットでは、製品にアクセスしたまま、懸念事項や質問に対する回答を即座に得ることができます。
- Arcserve グローバル ユーザ コミュニティでは、質疑応答、ヒントの共有、ベストプラクティスに関する議論、他のユーザとの対話に参加できます。
- サポート チケットを開くことができます。オンラインでサポート チケットを開くと、質問の対象製品を専門とする担当者から直接、コールバックを受けられます。

また、使用している Arcserve 製品に適したその他の有用なリソースにアクセスできます。

# 目次

---

|                                                          |           |
|----------------------------------------------------------|-----------|
| <b>第1章: 概要</b>                                           | <b>1</b>  |
| <b>第2章: Arcserve Cyber Resilient Storage サーバのシェルコマンド</b> | <b>2</b>  |
| <b>第3章: alert</b>                                        | <b>3</b>  |
| create                                                   | 4         |
| list                                                     | 5         |
| delete                                                   | 6         |
| <b>第4章: config</b>                                       | <b>7</b>  |
| check                                                    | 8         |
| apply                                                    | 10        |
| <b>第5章: disk</b>                                         | <b>12</b> |
| list                                                     | 13        |
| initialize                                               | 13        |
| <b>第6章: email</b>                                        | <b>14</b> |
| config                                                   | 15        |
| show                                                     | 16        |
| test                                                     | 17        |
| <b>第7章: filesystem</b>                                   | <b>18</b> |
| create                                                   | 19        |
| mount                                                    | 20        |
| unmount                                                  | 21        |
| list                                                     | 22        |
| delete                                                   | 23        |
| <b>第8章: help</b>                                         | <b>24</b> |
| <b>第9章: key</b>                                          | <b>25</b> |
| create                                                   | 26        |
| list                                                     | 27        |
| delete                                                   | 28        |
| <b>第10章: logs</b>                                        | <b>29</b> |
| set-level                                                | 30        |
| get-level                                                | 31        |
| <b>第11章: network</b>                                     | <b>32</b> |
| hostname                                                 | 33        |
| show                                                     | 34        |
| modify                                                   | 35        |

---

|                             |           |
|-----------------------------|-----------|
| device .....                | 36        |
| list .....                  | 37        |
| profile .....               | 38        |
| create .....                | 39        |
| list .....                  | 41        |
| modify .....                | 42        |
| delete .....                | 43        |
| up .....                    | 44        |
| down .....                  | 45        |
| bond .....                  | 45        |
| create .....                | 45        |
| delete .....                | 46        |
| ping .....                  | 46        |
| <b>第12章: pool .....</b>     | <b>48</b> |
| create .....                | 49        |
| list .....                  | 50        |
| list-inactive .....         | 51        |
| import .....                | 52        |
| add-disk .....              | 53        |
| remove-disk .....           | 54        |
| expand .....                | 55        |
| status .....                | 56        |
| delete .....                | 57        |
| replace-disk .....          | 58        |
| clear .....                 | 58        |
| <b>第13章: reboot .....</b>   | <b>59</b> |
| <b>第14章: shutdown .....</b> | <b>60</b> |
| <b>第15章: snapshot .....</b> | <b>61</b> |
| list .....                  | 62        |
| cleanup .....               | 63        |
| mount .....                 | 64        |
| unmount .....               | 65        |
| <b>第16章: support .....</b>  | <b>66</b> |
| enable .....                | 67        |
| upload-bundle .....         | 68        |
| <b>第17章: time .....</b>     | <b>69</b> |

---

---

|                               |           |
|-------------------------------|-----------|
| show .....                    | 70        |
| config .....                  | 71        |
| <b>第 18 章: timezone .....</b> | <b>72</b> |
| list .....                    | 73        |
| show .....                    | 74        |
| set .....                     | 75        |
| <b>第 19 章: update .....</b>   | <b>76</b> |
| config .....                  | 77        |
| set .....                     | 78        |
| show .....                    | 79        |
| check .....                   | 80        |
| install .....                 | 81        |
| <b>第 20 章: user .....</b>     | <b>82</b> |
| list .....                    | 83        |
| create .....                  | 84        |
| update .....                  | 85        |
| delete .....                  | 86        |
| <b>第 21 章: version .....</b>  | <b>87</b> |
| <b>索引 .....</b>               | <b>88</b> |

---

---

## 第1章: 概要

このコマンド リファレンス ガイドでは、Arcserve Cyber Resilient Storage サーバを管理および保護するために使用する重要なシェルコマンドを包括的に提供しています。このガイドは、システム管理者、セキュリティエンジニア、IT 運用チーム向けに設計されており、機能カテゴリにグループ化された主要なコマンドをカバーし、実際の使用状況のコンテキストと例を示しながら、わかりやすく簡単にアクセスできるようになっています。

### コマンドの形式

各コマンド リファレンスには以下が含まれます。

- コマンド構文
- 使用方法の説明

---

## 第2章: Arcserve Cyber Resilient Storage サーバのシェルコマンド

シェルは、Arcserve Cyber Resilient Storage サーバを管理できるコマンドライン インターフェイス( CLI) です。これは、Linux の Bash や Windows の PowerShell のように機能し、コマンドとその引数を入力してさまざまなタスクを実行します。使用可能なコマンドは、サーバのセキュリティと整合性を維持するために制限されています。

シェルにアクセスするには、初期セットアップの完了後に、SSH を使用して、またはコンソールから直接サーバにログインします。

---

# 第3章: alert

このセクションでは、システム イベントに 応 答して送 信される電 子メールアラートの 設 定に使用 するコマンドについて説 明します。

## 使用方法

```
alert [-h] {create,list,delete} ...
```

## サブコマンド:

---

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <a href="#">create</a> ..... | 4 |
| <a href="#">list</a> .....   | 5 |
| <a href="#">delete</a> ..... | 6 |

## create

電子メールアラートを作成します。

### 使用方法

```
alert create [-h] -t {disks-smart-status,storage-degraded,storage-error,storage-state-changed,storage-threshold,system-clock} -r RECIPIENTS [RECIPIENTS ...]
```

### 名前付き引数:

*-t, --type*

アラートを作成する対象を入力する。アラートの種類は以下のとおりです。

- disks-smart-status
- storage-degraded
- storage-error
- storage-state-changed
- storage-threshold
- system-clock

*-r, --recipients*

アラートの受信者のリスト。

## list

電子メールアラートをリストします。

### 使用方法

```
alert list [-h]
```

## delete

電子メールアラートを削除します。

### 使用方法

```
alert delete [-h] -t TYPE
```

### 名前付き引数:

*-t, --type*

削除するアラートの種類。

---

# 第4章: config

このセクションでは、システム設定とセキュリティポリシーの両方を確認および適用するために使用するコマンドについて説明します。

## 使用方法

```
config [-h] {check,apply} ...
```

## サブコマンド:

---

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| <a href="#">check</a> ..... | 8  |
| <a href="#">apply</a> ..... | 10 |

## check

システム設定およびセキュリティポリシーの現在の状態を表示します。

### 使用方法

```
config check [-h] [-v] -c CATEGORY
```

### 名前付き引数:

**-v、--verbose**

正常なカテゴリを含むすべての情報を表示

デフォルト: False

**-c、--category**

可能な選択: arcserve-support-access、root-access、secure-boot、system-clock、time、security、system

特定のルールセットまたはカテゴリのみを確認します。

| カテゴリ                    | 適用するルールセットまたはカテゴリ:                              |
|-------------------------|-------------------------------------------------|
| all                     | すべての非対話ルールセットを実行します。                            |
| system                  | すべての非対話システム/更新ルールセットを実行します。                     |
| storage                 | ZFS ストレージ プールが最新バージョンにアップグレードされていることを確認します。     |
| time                    | NTS 時刻同期用に chrony が正しく設定されていることを確認します。          |
| security                | root パスワードをロックし、root シェルおよび SSH アクセスを無効にします。    |
| root-access             | Arcserve サポート アカウントをロックし、そのシェル アクセスを無効にします。     |
| arcserve-support-access | Arcserve サポート アカウントをロックし、そのシェル アクセスを無効にします。     |
| secure-boot             | (対話) セキュア ブートが有効で、ZFS カーネル モジュールが署名されていることを確認しま |

---

|                  |                                                          |
|------------------|----------------------------------------------------------|
|                  | す。                                                       |
| system-<br>clock | NTS 時刻ソースが設定され、<br>到達可能であり、クロックが同<br>期されていることを確認しま<br>す。 |

## apply

以下のコマンドを使用して、システム設定およびセキュリティポリシーを目的の状態に変更します。

### 使用方法

```
config apply [-h] [-v] [--category {arcserve-support-access,root-access,secure-boot,system-clock,time,security,system}]
```

### 名前付き引数:

**-v, --verbose**

適用後にルールごとの結果を表示

デフォルト: False

**-c, --category**

可能な選択: arcserve-support-access、root-access、secure-boot、system-clock、time、security、system

特定のルールセットまたはカテゴリにのみ変更を適用します。

| カテゴリ                    | 適用するルールセットまたはカテゴリ:                           |
|-------------------------|----------------------------------------------|
| all                     | すべての非対話ルールセットを実行します。                         |
| system                  | すべての非対話システム/更新ルールセットを実行します。                  |
| storage                 | ZFS ストレージ プールが最新バージョンにアップグレードされていることを確認します。  |
| time                    | NTS 時刻同期用に chrony が正しく設定されていることを確認します。       |
| security                | root パスワードをロックし、root シェルおよび SSH アクセスを無効にします。 |
| root-access             | Arcserve サポート アカウントをロックし、そのシェルアクセスを無効にします。   |
| arcserve-support-access | Arcserve サポート アカウントをロックし、そのシェルアクセスを無効にします。   |
| secure-                 | (対話) セキュア ブートが有効                             |

---

|              |                                              |
|--------------|----------------------------------------------|
| boot         | で、ZFS カーネル モジュールが署名されていることを確認します。            |
| system-clock | NTS 時刻ソースが設定され、到達可能であり、クロックが同期されていることを確認します。 |

---

## 第5章: disk

このセクションでは、ディスク関連のさまざまなアクションに使用するコマンドについて説明します。

### 使用方法

```
disk [-h] {list,initialize} ...
```

### サブコマンド:

---

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| <a href="#">list</a> .....       | 13 |
| <a href="#">initialize</a> ..... | 13 |

## list

ディスクに関する情報を表示します。

### 使用方法

```
disk list [-h] [-d [DISK]] [-v]
```

#### 名前付き引数:

*-d*、*--disk*

指定したディスクのみを表示します。

*-v*、*--verbose*

詳細情報を表示します。

デフォルト: False。

## initialize

ディスクを初期化します。

**警告:** ディスク上のすべてのデータが消去されます。

### 使用方法

```
disk initialize [-h] -d DISKS [DISKS ...] [-F]
```

#### 名前付き引数:

*-d*、*--disks*

初期化するディスク。

*-F*、*--force*

確認なしで強制的に初期化します。

デフォルト: False。

---

## 第6章: email

このセクションでは、アラートの電子メールの設定およびテストに使用するコマンドについて説明します。

### 使用方法

```
email [-h] {config,show,test} ...
```

### サブコマンド:

---

|                              |    |
|------------------------------|----|
| <a href="#">config</a> ..... | 15 |
| <a href="#">show</a> .....   | 16 |
| <a href="#">test</a> .....   | 17 |

## config

アラートに使用する電子メールサーバを設定します。

### 使用方法

```
email config [-h] -H HOST [-P PORT] [-u USERNAME] [-n SENDER_ADDRESS] [-s] [-t] [-x SUBJECT_PREFIX]
```

#### 名前付き引数:

*-H, --host*

SMTP サーバホスト名

*-P, --port*

SMTP サーバポート( デフォルト: *-ssl* または *-starttls* に基づいて 25、465、または 587)

*-u, --username*

SMTP サーバユーザ名

*-n, --sender-address*

送信者の電子メールアドレス( デフォルト: username)

*-s, --ssl*

初期接続を暗号化する

デフォルト: False

*-t, --starttls*

STARTTLS で接続をアップグレードする( *-ssl* が設定されている場合は無視される)

デフォルト: False

*-x, --subject-prefix*

電子メールの件名行に追加するプレフィックス

## show

現在の電子メール設定を表示します。最初に電子メールサーバを設定するには、「email config」を使用します。

### 使用方法

```
email show [-h]
```

## test

指定した受信者にテスト電子メールを送信します。最初に電子メールサーバを設定するには、「email config」を使用します。

### 使用方法

```
email test [-h] -r RECIPIENT_ADDRESS
```

### 名前付き引数:

*-r, --recipient\_address*

受信者の電子メールアドレス。

---

# 第7章: filesystem

このセクションでは、ファイルシステムの管理に使用するコマンドについて説明します。

## 使用方法

```
filesystem [-h] {create,mount,unmount,list,delete} ...
```

## サブコマンド:

---

|                         |    |
|-------------------------|----|
| <a href="#">create</a>  | 19 |
| <a href="#">mount</a>   | 20 |
| <a href="#">unmount</a> | 21 |
| <a href="#">list</a>    | 22 |
| <a href="#">delete</a>  | 23 |

## create

指定したプールにファイルシステムを作成します。

### 使用方法

```
filesystem create [-h] -p POOL -f FILESYSTEM [-m | --mount | --no-mount]
```

### 名前付き引数:

*-p, --pool*

プールの名前。

*-f, --filesystem*

ファイルシステムの名前。

*-m, --mount, --no-mount*

作成後にファイルシステムをマウントする。

デフォルト: True

## mount

既存のファイルシステムを指定したプールでマウントします。

### 使用方法

```
filesystem mount [-h] -p POOL -f FILESYSTEM
```

### 名前付き引数:

*-p, --pool*

プールの名前。

*-f, --filesystem*

ファイルシステムの名前。

## unmount

既存のファイルシステムを指定したプールでマウント解除します。

### 使用方法

```
filesystem unmount [-h] -p POOL -n FILESYSTEM
```

### 名前付き引数:

*-p, --pool*

プールの名前。

*-f, --filesystem*

ファイルシステムの名前。

## list

ファイルシステムおよびマウントされたスナップショット のリストを 表 示 します。

### 使用方法

```
filesystem list [-h] [-p [POOL]] [-f FILESYSTEMS [FILESYSTEMS ...]]
```

### 名 前 付 き 引 数 :

*-p, --pool*

プールの名 前。

*-f, --filesystems*

ファイルシステムの名 前。

デフォルト : []

## delete

指定したプールからファイルシステムを削除します。

**注：**期限切れのスナップショットが含まれているファイルシステムは削除できません。

### 使用方法

```
filesystem delete [-h] -p POOL -f FILESYSTEM
```

### 名前付き引数：

*-p, --pool*

プールの名前。

*-f, --filesystem*

ファイルシステムの名前。

---

## 第8章: help

使用可能なコマンドまたは個々のコマンドの詳細をリストします。

### 使用方法

```
help [-h] [command]
```

### 位置引数:

コマンド

詳細なヘルプを表示するコマンドの名前。

---

# 第9章: key

このセクションでは、アクセス キー関連のさまざまな操作を実行するコマンドについて説明します。

## 使用方法

```
key [-h] {create,list,delete} ...
```

## サブコマンド:

---

|                        |    |
|------------------------|----|
| <a href="#">create</a> | 26 |
| <a href="#">list</a>   | 27 |
| <a href="#">delete</a> | 28 |

## create

アクセス キーを作成します。UDP またはクラウド コンソールで Arcserve Cyber Resilient Storage アカウントを作成するときにアクセス キーを指定する必要があります。

### 使用方法

```
key create [-h] -k ID [-c [COMMENT]]
```

### 名前付き引数:

*-k, --key*

アクセスキーの識別子。

*-c, --comment*

オプションのコメント。

## list

アクセス キーをリストします。

### 使用方法

```
key list [-h] [-k [ID]]
```

### 名前付き引数:

*-k, --key*

リストするキーのオプション ID。

## delete

指定したアクセス キーを削除します。

### 使用方法

```
key delete [-h] -k ID
```

### 名前付き引数:

*-k, --key*

削除するアクセス キーの識別子。

---

## 第10章: logs

トラブルシューティング ログを表示します。

### 使用方法

```
logs [-h] [-a] [-f] {set-level,get-level} ...
```

### 名前付き引数:

*-a, --audit*

監査ログのみを表示する。

デフォルト: False

*-f, --follow*

最新のログと新しいエントリを表示する。

デフォルト: False

*-follow* を使用しない場合、ログはページャー(「less」と呼ばれるインタラクティブビューア)に表示されます。ページャーで h キーを押すと、使用方法のヘルプが表示されます。ログを表示または追跡した後、Ctrl + C キーを押してシェルに戻ります。

## set-level

アプリケーション ログのログレベルを設定します。

### 使用方法

```
logs set-level [-h] -l LEVEL
```

### 名前付き引数

*-l, --level*

有効なログレベルは、DEBUG、DETAIL、INFO、WARNING、ERROR、CRITICAL です。

## get-level

アプリケーション ログの現在 のログレベルを取得します。

### 使用方法

```
logs get-level [-h]
```

### 名前付き引数

*-l, --level*

有効なログレベルは、DEBUG、DETAIL、INFO、WARNING、ERROR、CRITICAL です。

---

## 第11章: network

このセクションでは、ネットワーク設定のセットアップに使用するシェルコマンドについて説明します。

### 使用方法

```
network [-h] {hostname,device,profile,ping} ...
```

### サブコマンド:

---

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| <a href="#">hostname</a> ..... | 33 |
| <a href="#">show</a> .....     | 34 |
| <a href="#">modify</a> .....   | 35 |
| <a href="#">device</a> .....   | 36 |
| <a href="#">list</a> .....     | 37 |
| <a href="#">profile</a> .....  | 38 |
| <a href="#">create</a> .....   | 39 |
| <a href="#">list</a> .....     | 41 |
| <a href="#">modify</a> .....   | 42 |
| <a href="#">delete</a> .....   | 43 |
| <a href="#">up</a> .....       | 44 |
| <a href="#">down</a> .....     | 45 |
| <a href="#">bond</a> .....     | 45 |
| <a href="#">create</a> .....   | 45 |
| <a href="#">delete</a> .....   | 46 |
| <a href="#">ping</a> .....     | 46 |

## hostname

システムホスト名を管理します。

### 使用方法

```
network hostname [-h] {show,modify} ...
```

### サブコマンド:

---

|                              |    |
|------------------------------|----|
| <a href="#">show</a> .....   | 34 |
| <a href="#">modify</a> ..... | 35 |

## show

現在のホスト名を表示します。

### 使用方法

```
network hostname show [-h]
```

## modify

現在のホスト名を変更します。

### 使用方法

```
network hostname modify [-h] -n NAME
```

*-n*、*--name*

新しいホスト名。

## device

ネットワークデバイスを管理します。

### 使用方法

```
network device [-h] {list} ...
```

### サブコマンド:

---

|                            |    |
|----------------------------|----|
| <a href="#">list</a> ..... | 37 |
|----------------------------|----|

## list

ネットワークデバイスを一覧表示します。

### 使用方法

```
network device list [-h] [-d DEVICE] [-v]
```

### 名前付き引数:

*-d, --device*

一覧表示するデバイスの名前。

デフォルト: "

*-v, --verbose*

追加のフィールドを表示します。

デフォルト: FALSE

# profile

ネットワーク接続プロファイルを管理します。

## 使用方法

```
network profile [-h] {create,list,delete} ...
```

## サブコマンド:

|                        |    |
|------------------------|----|
| <a href="#">create</a> | 39 |
| <a href="#">list</a>   | 41 |
| <a href="#">modify</a> | 42 |
| <a href="#">delete</a> | 43 |
| <a href="#">up</a>     | 44 |
| <a href="#">down</a>   | 45 |

## create

新しいネットワーク接続プロファイルを作成します。

### 使用方法:

```
network profile create [-h] -p PROFILE -d DEVICE [--ipv4 IPV4] [--ipv6 IPV6] [-a ADDRESS] [-g GATEWAY] [--dns [DNS ...]] [--mtu MTU] [--autoconnect] [-r AUTOCONNECT_PRIORITY]
```

### 名前付き引数:

*-p, --profile*

ネットワークプロファイルのカスタム名。

*-d, --device*

ネットワークデバイスの名前。

*--ipv4*

IPv4 の設定方法。

デフォルト: NetworkMethod.DISABLED

*--ipv6*

IPv6 の設定方法。

デフォルト: NetworkMethod.DISABLED

*-a, --address*

ネットワーク IP アドレス。CIDR 表記が必要です(例: 192.168.1.100/24)。

*-g, --gateway*

ゲートウェイ IP アドレス。

*-d, --dns*

スペースで区切った DNS サーバ IP アドレスのリスト。

*--mtu*

接続の MTU ( Maximum Transmission Unit) サイズを設定します。

*--autoconnect*

プロファイルで自動接続を有効にします。

デフォルト: False

*-r, --autoconnect-priority*

自動接続の優先度 - 値が高いほど優先度が高くなります。  
デフォルト：0

## list

プロフィールに関する情報を表示します。

### 使用方法

```
network profile list [-h] [-d DEVICE] [-v | --verbose | --no-verbose]
```

#### 名前付き引数:

*-d*、*--device*

特定のデバイスに関する情報を表示します。

*-v*、*--verbose*、*--no-verbose*

追加の詳細を表示します。

デフォルト: False

## modify

既存のネットワーク接続プロファイルを変更します。

### 使用方法

```
network profile modify [-h] -p PROFILE [-d DEVICE] [--ipv4 IPV4] [--ipv6 IPV6] [-a ADDRESS] [-g GATEWAY] [--dns [DNS ...]] [--mtu MTU] [--autoconnect | --no-autoconnect] [-r AUTOCONNECT_PRIORITY]
```

### 名前付き引数:

*-p, --profile*

変更するネットワークプロファイルの名前。

*-d, --device*

ネットワークデバイスの名前。

*--ipv4*

IPv4 の設定方法 ( auto、manual、disabled)

*--ipv6*

IPv6 の設定方法 ( auto、manual、disabled)

*-a, --address*

ネットワーク IP アドレス。CIDR 表記が必要です( 例 : 192.168.1.100/24) 。

*-g, --gateway*

ゲートウェイ IP アドレス。

*-d, --dns*

スペースで区切った DNS サーバ IP アドレスのリスト。

*--mtu*

接続の MTU ( Maximum Transmission Unit) サイズ。

*--autoconnect, --no-autoconnect*

プロファイルで自動接続を有効にします。

デフォルト : False

*-p, --autoconnect-priority*

自動接続の優先度 - 値が高いほど優先度が高くなります。

## delete

既存のネットワーク接続プロファイルを削除します。

### 使用方法

```
network profile delete [-h] -p profile_name
```

### 位置引数:

*-p, --profile*

削除するネットワークプロファイルの名前。

## up

ネットワーク接続プロファイルをアクティブ化します。

```
network profile up [-h] -p PROFILE
```

名前付き引数:

*-p, --profile*

アクティブ化するネットワークプロファイルの名前。

## down

ネットワーク接続プロファイルを非アクティブ化します。

```
network profile down [-h] -p PROFILE
```

名前付き引数:

*-p, --profile*

ネットワークプロファイルのカスタム名。

## bond

デバイスの冗長性のために、アクティブ/バックアップ ネットワーク ボンディングを管理します。

### 使用方法

```
network bond [-h] {create,delete,modify} ...
```

サブコマンド:

---

|                              |    |
|------------------------------|----|
| <a href="#">create</a> ..... | 45 |
| <a href="#">delete</a> ..... | 46 |

### create

メンバーデバイスとの新しいネットワーク ボンディングを作成します。

使用方法:

```
network bond create [-h] -b BOND -m MEMBERS [MEMBERS ...]
```

名前付き引数:

*-b, --bond*

ボンディング デバイスおよび接続プロファイルの名前。これが仮想ボンディング インターフェースになります。メンバープロファイルは、「{bond}-member1', '{bond}-member2」などの名前が付けられます。

*-m*、*--members*

ボンディング メンバとして追加する物理ネットワークデバイス(最小 2 デバイス)。

## delete

ネットワーク ボンディングとそのすべてのメンバプロファイルを削除します。

### 使用方法

```
network bond delete [-h] -b BOND_DEVICE
```

### 位置引数:

*-b*、*--bond*

削除するボンディングの名前。

## ping

IP アドレスまたはホスト名を ping して、ネットワーク接続をテストします。

### 使用方法:

```
network ping [-h] [-d DESTINATION_FLAG] [-t 1-255] [-c 1-100] [-s 1-65507] [-i 1-10] [-w 1-60] [destination]
```

### 位置引数:

デスティネーション

ping する IP アドレスまたはホスト名。

### 名前付き引数:

*-d*、*--destination*

ping する IP アドレスまたはホスト名。

*-t*、*--ttl*

パケットがルータによって転送されているかどうかをテストするための存続時間 (TTL) の値。

デフォルト : 60

`-c`、`--count`

送信する ping パケットの数。

デフォルト : 4

`-s`、`--size`

ping パケットのペイロード サイズ( バイト)。

デフォルト : 56

`-i`、`--interval`

ping パケットを送信する間隔( 秒)。

デフォルト : 1

`-w`、`--timeout`

各 ping 応答の待機タイムアウト( 秒)。

デフォルト : 5

---

## 第12章: pool

このセクションでは、さまざまなプール管理操作を実行するために使用するコマンドについて説明します。

### 使用方法

```
pool [-h] {create,list,list-inactive,import,add-disk,remove-disk,expand,status,delete,replace-disk,clear} ...
```

### サブコマンド:

---

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| <a href="#">create</a> .....        | 49 |
| <a href="#">list</a> .....          | 50 |
| <a href="#">list-inactive</a> ..... | 51 |
| <a href="#">import</a> .....        | 52 |
| <a href="#">add-disk</a> .....      | 53 |
| <a href="#">remove-disk</a> .....   | 54 |
| <a href="#">expand</a> .....        | 55 |
| <a href="#">status</a> .....        | 56 |
| <a href="#">delete</a> .....        | 57 |
| <a href="#">replace-disk</a> .....  | 58 |
| <a href="#">clear</a> .....         | 58 |

## create

ストレージ プールを作成します。

### 使用方法

```
pool create [-h] -p POOL -d DISKS [DISKS ...] [-P {single,double,triple}] [-F | --force | --no-force]
```

#### 名前付き引数:

*-p, --pool*

プールの名 前。

*-d, --disks*

プールに追加するディスクの名 前。

*-P, --parity*

プールのパリティ。

選択肢: *single*、*double*、または *triple*。

*-F, --force, --no-force*

警告を無視してプールの作成を強制する。既存のディスクデータを上書きする可能性があります。

デフォルト: *False*

## list

1 つ以上のストレージ プールの設定をリストします。

### 使用方法

```
pool list [-h] [-p [POOLS ...]]
```

### 名前付き引数:

*-p, --pools*

リストする特定のプール名。

デフォルト: []

## list-inactive

現在非アクティブなストレージ プールを一覧表示します。

### 使用方法

```
pool list-inactive [-h]
```

## import

1 つ以上 の非アクティブなストレージ プールをインポートします。

### 使用方法

```
pool import [-h] -p POOLS [POOLS ...]
```

### 名前付き引数:

*-p, --pools*

非アクティブなプールの名前。

## add-disk

ストレージ プールにディスクを追加します。

### 使用方法

```
pool add-disk [-h] [-p POOL] [-t [DISK_TYPE]] -d DISK
```

### 名前付き引数:

*-p, --pool*

プールの名前。

*-t, --disk-type*

プールに追加するディスクの種類( *data*、*spare* のいずれか)。

*-d, --disk*

プールに追加するディスクの名前。

## remove-disk

スペア ディスクをストレージ プールから削除します。

### 使用方法

```
pool remove-disk [-h] [-p POOL] -d DISK
```

### 名前付き引数:

*-p, --pool*

プールの名前。

*-d, --disk-name*

プールから削除するスペア ディスクの名前。

## expand

新しいディスクが追加されたとき、または既存のディスクのサイズが変更されたときに作成された追加容量を使用するようにプールを拡張します。

### 使用方法

```
pool expand [-h] [-p POOL]
```

### 名前付き引数:

*-p*、*--pool*

プールの名前。

## status

1 つ以上のストレージ プールのステータスを表示します。

### 使用方法

```
pool status [-h] [-p [POOLS ...]] [-v | --verbose | --no-verbose]
```

### 名前付き引数:

*-p, --pools*

ステータスを表示するプールの名前。

*-v, --verbose, --no-verbose*

詳細なステータス情報を表示します。

デフォルト: False

## delete

ストレージ プールを削除します。

### 使用方法

```
pool delete [-h] -p POOL [-F | --force | --no-force]
```

### 名前付き引数:

*-p, --pool*

プールの名前。

*-f, --force, --no-force*

警告を無視し、プールを強制的に削除する。

デフォルト: False

## replace-disk

指定したプール内のディスクを置き換えます。

### 使用方法

```
pool replace-disk [-h] -p POOL -d DISK -n NEW_DISK
```

### 名前付き引数:

*-p, --pool*

置き換えるディスクを含むプールの名前。

*-d, --disk*

置き換えられる古いディスクの名前。

*-n, --new-disk*

古いディスクを置き換える新しいディスクの名前。

## clear

プールのエラーをクリアします。

### 使用方法

```
pool clear [-h] -p POOL
```

### 名前付き引数:

*-p, --pool*

エラーをクリアするプールの名前。

---

## 第13章: reboot

システムを再起動します。

### 使用方法

```
reboot [-h] [-F | --force | --no-force]
```

### 名前付き引数:

*-F*、*--force*、*--no-force*

警告を無視して強制的に再起動します。データが失われる可能性があります。

デフォルト: `False`

---

## 第14章: shutdown

システムをオフにします。

### 使用方法

```
shutdown [-h] [-F | --force | --no-force]
```

### 名前付き引数:

*-F*、*--force*、*--no-force*

警告を無視して強制的にシャットダウンします。データが失われる可能性があります。

デフォルト: False

---

# 第 15 章: snapshot

このセクションでは、スナップショットを操作するために使用するコマンドについて説明します。

## 使用方法

```
snapshot [-h] {list,cleanup,mount,unmount} ...
```

## サブコマンド:

---

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| <a href="#">list</a> .....    | 62 |
| <a href="#">cleanup</a> ..... | 63 |
| <a href="#">mount</a> .....   | 64 |
| <a href="#">unmount</a> ..... | 65 |

## list

プールまたはファイルシステム、あるいはその両方のスナップショットをリストします。

### 使用方法

```
snapshot list [-h] [-p POOL] [-f FILESYSTEM]
```

### 名前付き引数:

*-p, --pool*

スナップショットを表示するプールの名前。

*-f, --filesystem*

スナップショットを表示するファイルシステム。

## cleanup

期限切れのスナップショットを削除します。

### 使用方法

```
snapshot cleanup [-h]
```

## mount

スナップショットをマウントします。

### 使用方法

```
snapshot mount [-h] -p POOL -f FILESYSTEM -s SNAPSHOT
```

#### 名前付き引数:

*-p, --pool*

スナップショットを含むプールの名前。

*-f, --filesystem*

スナップショットのファイルシステムの名前。

*-s, --snapshot*

スナップショット リストに表示される、マウントするスナップショットの完全な名前。

## unmount

スナップショットをマウント解除します。

### 使用方法

```
snapshot unmount [-h] -p POOL -f FILESYSTEM -s SNAPSHOT
```

### 名前付き引数:

*-p, --pool*

スナップショットを含むプールの名前。

*-f, --filesystem*

スナップショットのファイルシステムの名前。

*-s, --snapshot*

スナップショット リストに表示される、マウント解除するスナップショットの完全な名前。

---

# 第 16 章: support

このセクションでは、サポート 管理 コマンドについて説明します。

## 使用方法

```
support [-h] {enable,upload-bundle} ...
```

## サブコマンド:

---

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| <a href="#">enable</a> .....        | 67 |
| <a href="#">upload-bundle</a> ..... | 68 |

## enable

Arcserve サポートのためにこのサーバへのリモートアクセスを有効にします。

### 使用方法

```
support enable [-h] [-r RELAY] [-p PORT]
```

### 名前付き引数:

*-r, --relay*

リレー サーバアドレスを上書きする(オプション)。

デフォルト: "

*-p, --port*

リレー サーバポートを上書きする(オプション)。

デフォルト: 0

## upload-bundle

診断用のサポート バンドルをアップロードします。

### 使用方法

```
support upload-bundle [-h] [-t TAG]
```

### 名前付き引数:

*-t, --tag*

サポート バンドルを簡単に識別できるタグ。

デフォルト: ""

*-o, --offline, --no-offline*

サポート バンドルを USB ドライブに保存します。

デフォルト: False

*-F, --force, --no-force*

サポート バンドルを USB ドライブに保存するための確認のプロンプトをバイパスします。

デフォルト: False

---

## 第17章: time

このセクションでは、時間に関連するコマンドについて説明します。

### 使用方法

```
time [-h] {show,config} ...
```

### サブコマンド:

---

|                              |    |
|------------------------------|----|
| <a href="#">show</a> .....   | 70 |
| <a href="#">config</a> ..... | 71 |

## show

時間情報を表示します。

### 使用方法

```
time show [-h]
```

## config

時間の設定を行います。

### 使用方法

```
time config [-h] -s SERVERS [SERVERS ...]
```

### 名前付き引数:

*-s, --servers*

使用する NTS タイム サーバの完全修飾ドメイン名。

---

## 第18章: timezone

このセクションでは、システムのタイムゾーンの設定に使用するコマンドについて説明します。

### 使用方法

```
timezone [-h] {list,show,set} ...
```

### サブコマンド:

---

|                            |    |
|----------------------------|----|
| <a href="#">list</a> ..... | 73 |
| <a href="#">show</a> ..... | 74 |
| <a href="#">set</a> .....  | 75 |

## list

利用可能なシステムのタイムゾーンを表示します。

### 使用方法

```
timezone list [-h]
```

## show

現在のシステムのタイムゾーンを表示します。

### 使用方法

```
timezone show [-h]
```

## set

システムのタイムゾーンを設定します。利用可能なシステムのタイムゾーンを検索するには、「timezone list」を使用します。

### 使用方法

```
timezone set [-h] -t TIMEZONE
```

### 名前付き引数:

*-t, --timezone*

設定するシステムのタイムゾーン。

---

# 第 19 章: update

このセクションでは、システム更新の確認や実行に使用するコマンドについて説明します。

## 使用方法

```
update [-h] {config,check,install} ...
```

## サブコマンド:

---

|                         |    |
|-------------------------|----|
| <a href="#">config</a>  | 77 |
| <a href="#">set</a>     | 78 |
| <a href="#">show</a>    | 79 |
| <a href="#">check</a>   | 80 |
| <a href="#">install</a> | 81 |

## config

更新設定を管理します。

### 使用方法

```
update config [-h] {set,show} ...
```

### サブコマンド:

---

|                            |    |
|----------------------------|----|
| <a href="#">set</a> .....  | 78 |
| <a href="#">show</a> ..... | 79 |

## set

更新の設定を行います。

### 使用方法

```
update config set [-h] [-c CHANNEL] [-t TAG] [-v VERSION]
```

### 名前付き引数:

*-c, --channel*

使用する更新チャンネル。

*-t, --tag*

更新コンテンツに使用するタグ。

デフォルト: 'latest'

*-v, --version*

更新コンテンツに使用するバージョン。

## show

更新設定を表示します。

### 使用方法

```
update config show [-h]
```

## check

利用可能な更新があるかどうかを確認します。

### 使用方法

```
update check [-h] [-o | --offline | --no-offline]
```

### 名前付き引数:

*-o*、*--offline*、*--no-offline*

USB または光学デバイスからの更新を確認します。

デフォルト: 'False'

## install

更新をインストールします。

### 使用方法

```
update install [-h] [-f | --force | --no-force]
```

### 名前付き引数:

*-f, --force, --no-force*

警告を無視し、プロンプトを表示しない

デフォルト: False

*-o, --offline, --no-offline*

USB または光学デバイスから更新をインストールします。

デフォルト: False

---

# 第 20 章: user

このセクションでは、ユーザアカウントの管理に使用するコマンドについて説明します。

## 使用方法

```
user [-h] {list,create,update,delete} ...
```

## サブコマンド:

---

|                              |    |
|------------------------------|----|
| <a href="#">list</a> .....   | 83 |
| <a href="#">create</a> ..... | 84 |
| <a href="#">update</a> ..... | 85 |
| <a href="#">delete</a> ..... | 86 |

## list

ユーザをリストします。

### 使用方法

```
user list [-h]
```

## create

新しいユーザを作成します。

### 使用方法

```
user create [-h] -u USERNAME [-r {admin,super_admin}]
```

### 名前付き引数:

*-u, --username*

新しいアカウントのユーザ名。

*-r, --role*

新しいアカウントの役割。可能な選択: admin、super\_admin

デフォルト: 'admin'

## update

既存のユーザを更新します。

### 使用方法

```
user update [-h] -u USERNAME [-p] [-r {admin,super_admin}]
```

### 名前付き引数:

*-u, --username*

変更するアカウントのユーザ名。

*-p, --password*

新しいパスワードを設定するように求める

デフォルト: False

*-r, --role*

アカウントの新しい役割。可能な選択: admin、super\_admin

## delete

既存のユーザを削除します。

### 使用方法

```
user delete [-h] -u USERNAME
```

### 名前付き引数:

*-u, --username*

削除するアカウントのユーザ名。

---

## 第21章: version

システムのバージョンを表示します。

### 使用方法

```
version [-h]
```

---

# 索引

---

## A

add-disk [53](#)

alert [3](#)

apply [10](#)

Arcserve サイバー レジリエンス ストレージ サーバのシェルコマンド [2](#)

Arcserve へのお問い合わせ [3](#)

## B

bond [45](#)

## C

check [8](#), [80](#)

cleanup [63](#)

clear [58](#)

config [7](#), [77](#)

configure [15](#), [71](#)

create [4](#), [19](#), [26](#), [39](#), [45](#), [49](#), [84](#)

## D

delete [6](#), [23](#), [28](#), [43](#), [46](#), [57](#), [86](#)

device [36](#)

disk [12](#)

down [45](#)

## E

email [14](#)

---

enable [67](#)  
expand [55](#)

## F

filesystem [18](#)

## G

get-level [31](#)

## H

help [24](#)  
hostname [33](#)

## I

import [52](#)  
initialize [13](#)  
install [81](#)

## K

key [25](#)

## L

list [5](#), [13](#), [22](#), [27](#), [37](#), [41](#), [50](#), [62](#), [73](#), [83](#)  
list-inactive [51](#)  
logs [29](#)

---

## M

modify [35](#), [42](#)

mount [20](#), [64](#)

## N

network [32](#)

## P

ping [46](#)

pool [48](#)

profile [38](#)

## R

reboot [59](#)

remove-disk [54](#)

replace-disk [58](#)

## S

set [75](#), [78](#)

set-level [30](#)

show [16](#), [34](#), [70](#), [74](#), [79](#)

shutdown [60](#)

snapshot [61](#)

status [56](#)

support [66](#)

---

## T

test [17](#)  
time [69](#)  
timezone [72](#)

## U

unmount [21, 65](#)  
up [44](#)  
update [76, 85](#)  
upload-bundle [68](#)  
user [82](#)

## V

version [87](#)

## 漢字

概要 [1](#)